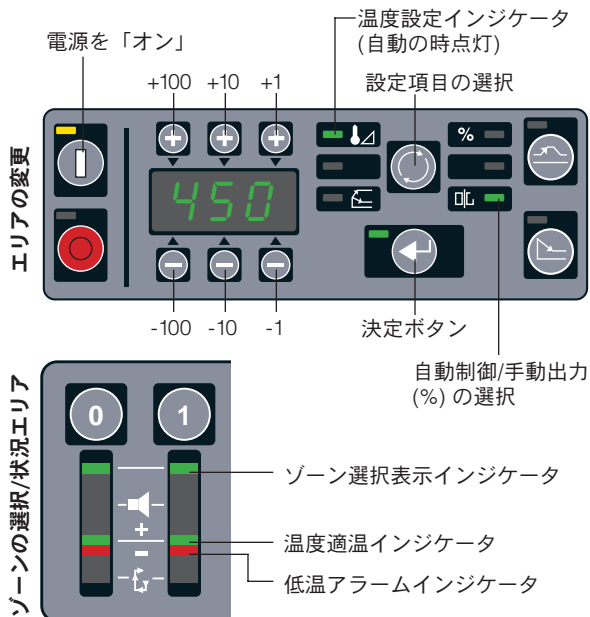


- ① ドライサイクルで成形機を運転する (100%型締力で3~4回開閉する) (作業前にケーブルをはさまないよう固定して下さい)
- ② メインブレーカを入れます  
2.1 コントローラ本体前面にある3つのLEDが点灯していれば電源は正常に供給されています。  
2.2 操作パネル電源スイッチがついている機種があります。パネルになにも表示されない場合は、操作パネル下の操作パネル電源スイッチをONにして下さい。
- ③ 「全」グループを選択  
選択ボタンで温度設定値 (左上) を選択  
温度設定値を入力  
決定ボタンで入力値を決定します
- ④ 「全」グループを選択  
選択ボタンで自動/手動運転選択 (右下) を選択  
自動運転「0」を入力  
決定ボタンで選択を決定します
- ⑤ 「全」グループを選択  
Power「ON」ボタンを押す  
決定ボタンでヒーターがONします
- ⑥ ヒーターON直後、各ゾーンの低温アラームインジケータが点灯します。  
各温度が設定温度に近づき、設定温度 $\pm 11^{\circ}\text{C}$ の範囲内になると、緑色の適温インジケータが点灯します。



# TTC

インターナショナル  
インターフェース

## 基本操作



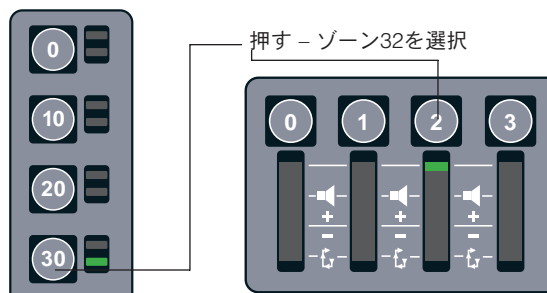
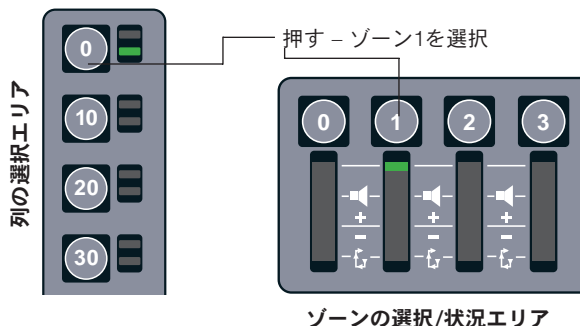
ガンマフラックス  
スターリング (米国バージニア州) 電話 +1-(703) 471-5050  
ウィースバーデン (ドイツ) 電話 +49-(0)-611-973430  
宇部 (日本) 電話 +81-(836) 54-4369  
www.gammaflux.com; www.gammaflux.de



Gammaflux®

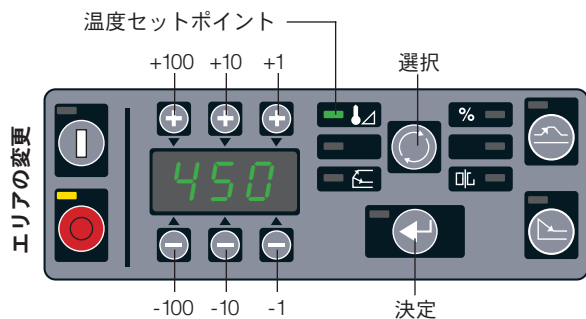
## ゾーンの選択方法

## セットポイントの入力方法

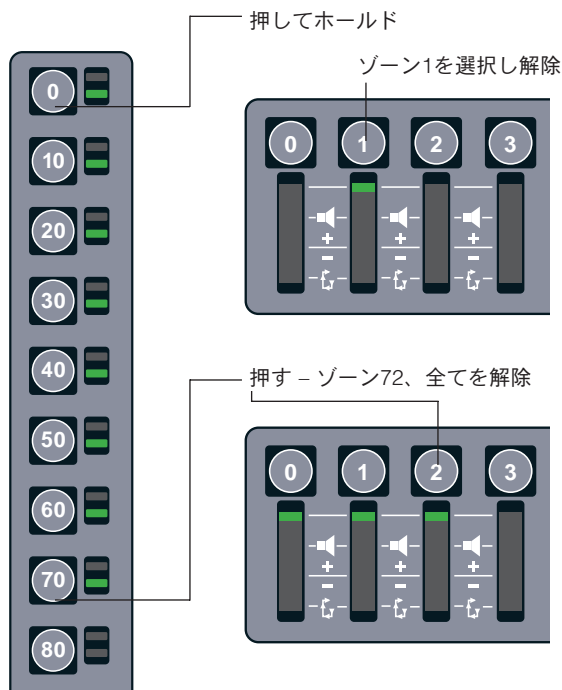


### 自動制御の場合

- ① ゾーンを選択
- ② 自動制御を選択
- ③ 設定温度入力
- ④ 決定を押して確定



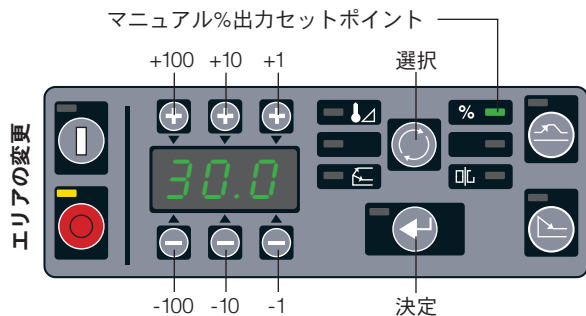
## ゾーン・グループの選択方法



ゾーン1~72選択  
変更を1~72に実施

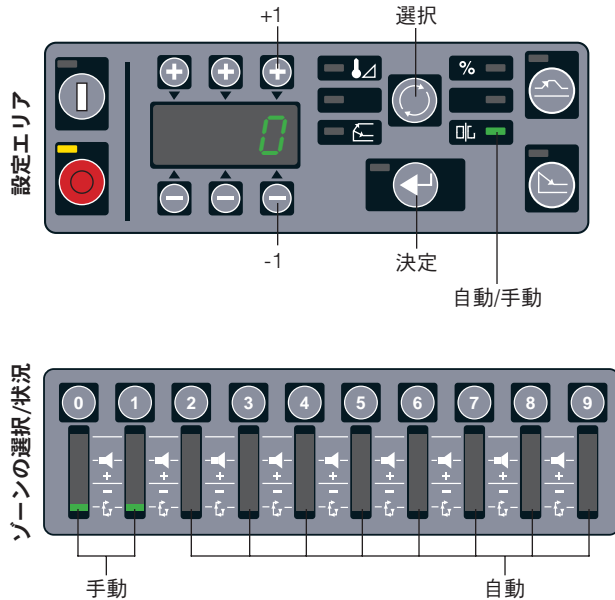
### 手動制御の場合

- ① ゾーンを選択
- ② 手動制御を選択
- ③ 入力 (%) の設定
- ④ 決定を押して確定

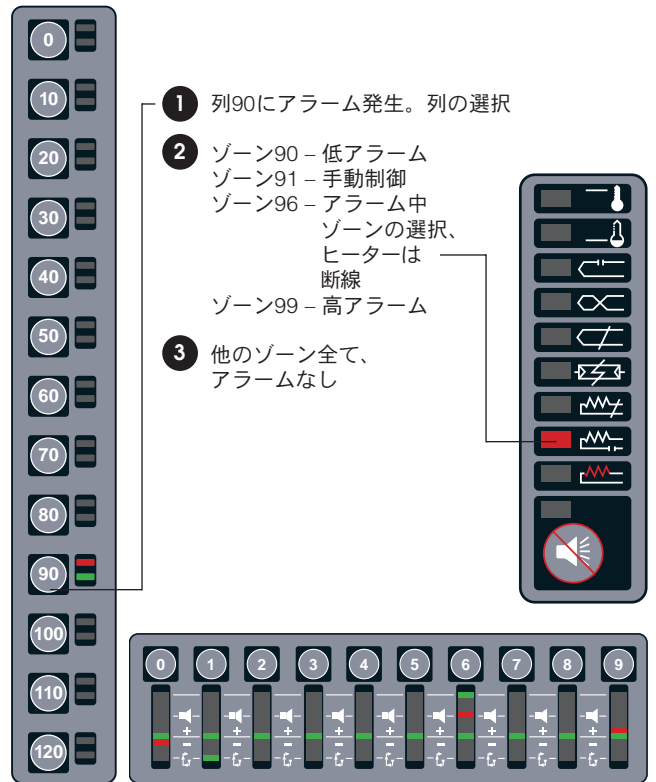


## 自動または手動の選択方法

- 1 ゾーンを選択
- 2 自動/手動の選択
- 3 自動制御は「0」を入力  
手動制御は「1」を入力  
ゾーンを「オフ」にロックしたい場合は「2」を入力
- 4 「決定」を押して確定



## 全ゾーンを素早く見る方法



## プロセスの詳細を見る方法

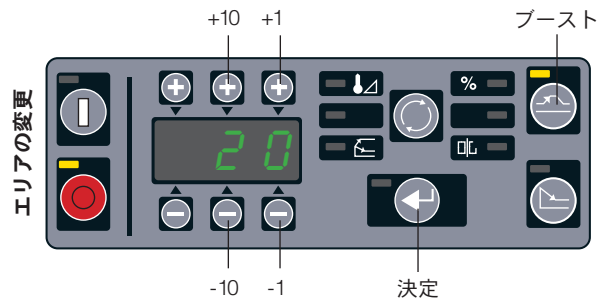
- 1 ゾーンを選択して表示
- 2 アイテムを選択して表示



## ブースト機能 – ブーストする方法

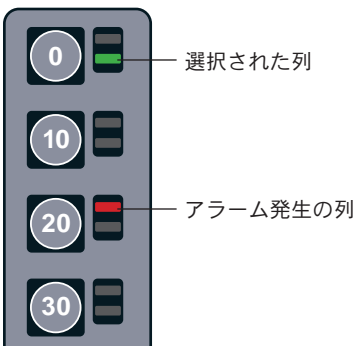
ブーストによりゾーンあるいはゾーン・グループの温度が一時的に上昇し、スタートアップ時のもたつきを解消

- 1 ゾーンを選択
- 2 ブーストを押します。ブースト数値を入力し「決定」を押します
- 3 ゾーンは1分間 (初期値) 設定値に対して 20°F/11°C (初期値) 上昇させます。



(ブーストを取り消すには、ブーストを再度押し、決定を押します)

列の選定エリア



ヒーターを「オン」にします (ロックされていないゾーンが全て「オン」になると点灯)

自動温度設定ポイントの変更/表示

%出力手動時設定値、変更/一覧

設定エリア



ヒーターを「オフ」にします (ゾーンが全て「オフ」になると点灯)

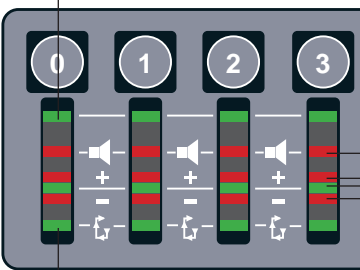
トリム - 選択されたゾーンの固定・自動設定ポイントの変更 (±20°F/11°C 初期値)。ゾーンを選択し、変更数値を入力すると、選択されたゾーンは全て変更されます。

自動/手動制御、変更/表示

ブースト - 選択されたゾーンの一時的な昇温。事前設定で温度や時間制限の調節が可能。

スタンバイ - (選択されたゾーン) 自動設定ポイントを事前設定の温度 (220°F/104°C デフォルト) に変更、手動%出力設定を半分にカットして低減。材料保護/スタンバイ・リモートインプットの提示が可能。高レベル・設定を参照してください。(スタンバイをキャンセルするには、スタンバイを再度押します)

ゾーンの選択/状況



マニュアルまたは%オペレーション (点灯)

点灯したらゾーンへのアラーム。ゾーンを選択してアラームをチェック。

高温アラーム (+20°F/11°C 初期値) が事前設定で選択可能

温度保持設定ポイント (自動) またはゾーンが「オン」 (手動)

低温アラーム (-20°F/11°C 初期値) が事前設定で選択可能

表示

実際の数値

温度

% 出力

選択

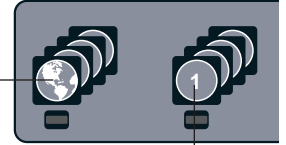
電流値

摂氏温度 (点灯)

華氏温度 (点灯せず)

自動温度設定からの偏差

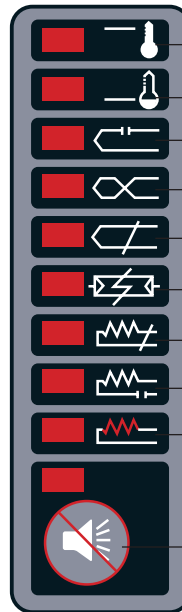
グループ選択エリア



「全グループ」 - システムの全ゾーンを選択

「カスタム・グループ」 - ユーザーのゾーングループを記憶。各ゾーンを選択して保存し、カスタムグループ・ボタンが光るまで押します。

アラーム



高温 (+20°F/11°C デフォルト) アラーム

低温 (-20°F/11°C デフォルト) アラーム

熱電対 (T/C) オープン - T/Cの接続が断絶

熱電対が逆転 - T/Cの接続があるポイントで + から - に配線

熱電対ピンチ - T/Cがピンチまたはコントローラーがピンチと認識 (デフォルト: 100%出力、5分で +20°F/11°C が必要)。真正ピンチ - 温度の読み取りが不安定または不可能 - 暴走。偽性ピンチ - 当該ゾーンを暖めるにはヒーターが小さ過ぎます

オープン・ヒューズ - モジュールのヒューズが不良

ヒーターがショート - ヒーターがショートしたかモジュールの上限値を超えたもの

オープン・ヒーター - ヒーターの接続が故障

出力の無制御 - モジュールの出力が制御されていません。モジュールの全ゾーンが自動的に遮断

アラームをクリア